



# 絆の草中

# 18

草野中学校だより

発行責任者 校長 丹野 英雄

第18号 令和3年9月24日発行

さる9月21日(火)秋晴れの空のもと、21世紀の森周辺駅伝コースでいわき市中学校駅伝競走大会が行われました。男子は6区間、女子は5区間で襷をつなぎました。その結果、男子は34チーム中5位入賞、女子は32チーム中7位という成績をあげました。

男女とも夏休み前から練習を開始し、夏の暑い中、一生懸命走り込みを続けてきました。お互いに切磋琢磨しながらも深い絆で結ばれた部員たち。絶対的なエースは存在しないものの、総合力で県大会出場をめざせるタイムをはじき出すまでに至りました。

大会1週間前の9月14日(火)には、出場選手壮行会を開きました。当日応援に行かれない分、選手の健闘を祈りつつ全校生徒と教職員が一体となってエールを送りました。応援団による勇壮な演舞と全校を挙げた声援は、選手の背中を力強く押してくれたと思います。

本大会は新型コロナウイルス感染防止対策として、会場入りできる部員の数も制限されたうえに、無観客での開催だったため、選手にとっては仲間や保護者の方々の声援がない中での過酷な走りが予想されました。そこで、前日練習を終えた部員たちは、それぞれの思いを込めた襷を出場する選手に託すことにしました。

仲間の思いを託された選手たちは、持てる力を存分に発揮し、若さみなぎる熱いレースを展開しました。男女ともに県大会への出場権を得られる6位以内をめざしたレースは熾烈を極め、女子は、あと一歩及びみせんでしたが果敢な走りを見せてくれました。男子は、見事10月6日(水)に開催される県大会へ駒を進めることができました。県大会での男子の活躍に期待したいと思います。

駅伝部の部員たちは、目標を掲げ前向きに取り組む大切さを草野中学校の全生徒に教えてくれたと思います。ありがとう。そして、お疲れさま。



選手壮行会では、選手の健闘を祈りつつ全校生徒と教職員が一体となってエールを送りました。応援団の演舞も圧巻でした。

市駅伝競走大会当日の男子スタート直後のようす。熾烈なレース展開を予感させます。

## 襷に込められた思いをつなぐ…市駅伝大会

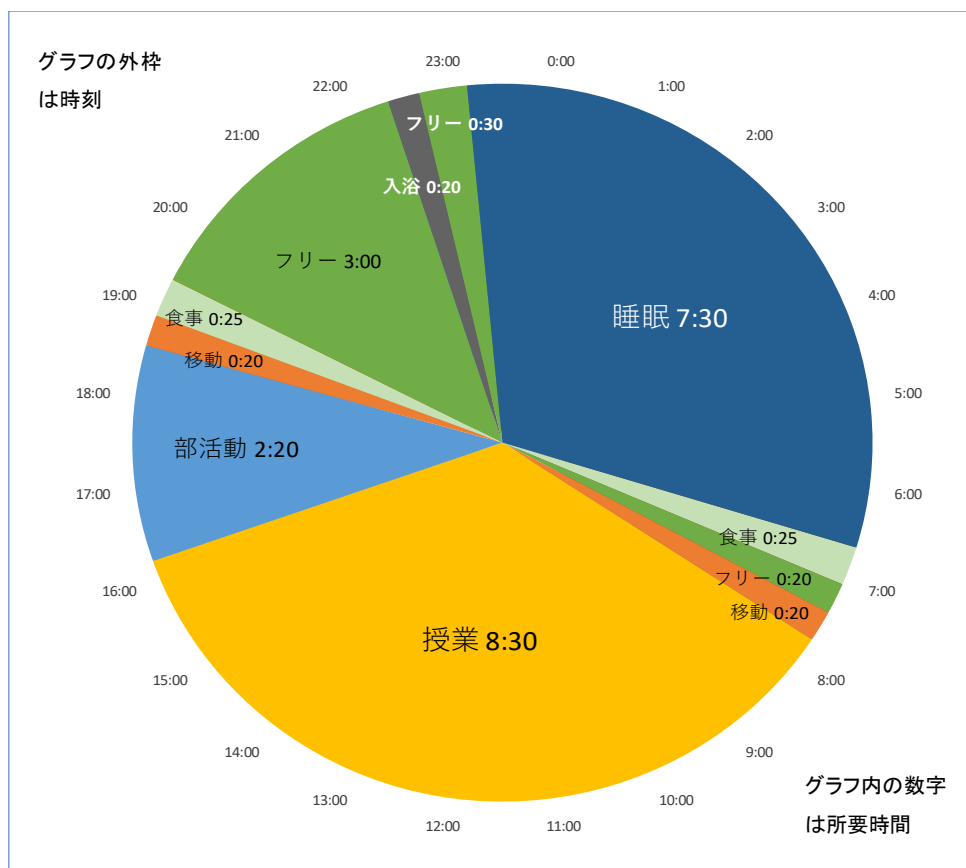
# 限られた時間で、学習効果を上げるには？

部活動に所属している中学生が平日どのように過ごしているかを示したものが右の円グラフです。1日は24時間ありますが「授業・部活動・習い事・移動・睡眠・入浴・食事」を差し引いたものがフリーな時間になります。実際に洗い出してみると意外とフリーな時間が少ないことが分かると思います。

宿題や予習・復習に充てる家庭学習の時間は、このフリーな時間から捻り出す必要があります。フリーな時間で、「読書もしたい。」「テレビも観たい。」「ゲームもしたい。」「友達と連絡もとりたい。」「やりたいことはたくさんあるのに時間は限られている。」中学生は、日々そんなジレンマを抱えて生活しています。大人が思っている以上に中学生は気ぜわしさを感じているのかもしれない。

さて、限られた時間で効率よく勉強するためには、自分にとって“最適な学び”を見つけることが大事になってきます。書いて勉強を進めた方がよいタイプ。読んで勉強を進めた方がよいタイプ。あるいは、デジタル教材などを活用して視覚的に捉えたほうがよいタイプ。人によってもさまざまです。教科によってもさまざまです。また、短時間で何度も繰り返す学習の仕方が合っているのか、じっくり時間をかけて理解する学習の仕方が合っているのか、見極めることも大切です。いずれにしても、経験してみなければ実感はわいてきません。具体的にアクションを起こしてみれば何かしら気づきがあるはず。ジレンマを抱えたままで過ごすか否か、選ぶ自由は誰にでも等しく与えられています。

さて、限られた時間で効率よく勉強するためには、自分にとって“最適な学び”を見つけることが大事になってきます。書いて勉強を進めた方がよいタイプ。読んで勉強を進めた方がよいタイプ。あるいは、デジタル教材などを活用して視覚的に捉えたほうがよいタイプ。人によってもさまざまです。教科によってもさまざまです。また、短時間で何度も繰り返す学習の仕方が合っているのか、じっくり時間をかけて理解する学習の仕方が合っているのか、見極めることも大切です。いずれにしても、経験してみなければ実感はわいてきません。具体的にアクションを起こしてみれば何かしら気づきがあるはず。ジレンマを抱えたままで過ごすか否か、選ぶ自由は誰にでも等しく与えられています。



ただし、アクションを起こしたからといって、すべての教科で成果がすぐに現れるとは言い切れません。そのため、途中で投げ出してしまうこともあるでしょう。そんな時にこそ、クラスメートの存在が貴重になります。授業中の「教え合い」を積極的に導入している教科があります。教わる生徒は、「問題のどこに着目すればよいのか」「学んだことから、どんな知識を活かせばよいのか」といった観点で、分かっているような生徒に話しかけるので、知識を得るだけではなく「知識を得る手法」を学ぶことになります。一方、教える側の生徒は、その教科で必要とされる見方や考え方を整理しながら分かりやすく伝えようとするので、理解が一層深まります。これが、「主体的・対話的で深い学び」の理想です。

自分にとって“最適な学び”を見つけ、“知識を得る手法”を体得できれば、学力は飛躍的に伸びるはず。また、将来的には「社会において、たくましく生き抜くための能力」として活かされると思います。

## 【教育目標】

自ら学び、考え、正しく判断できる生徒  
 絆を大切に、思いやりを持って行動できる生徒  
 進んで運動し、心身ともに健康な生徒



〒970-0101  
 福島県いわき市平下神谷字宿25番地  
 TEL 0246-34-2208 FAX 0246-34-2771  
 E-mail : kusano-jh@city.iwaki.lg.jp